

現場説明書

1 工 事 名 令和元年度新港地区新港1・2号岸壁係船柱補修工事
2 監 督 員 港湾部 港湾建設課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、市長が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

3. 前払金について

前払金 する しない

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

4. 中間前払金について

中間前払金 する しない

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

5. 部分払について

部分払 する(一回以内) しない

6. 継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度(年度)	%	支払限度額・請負代金額の %
第2年度(年度)	%	支払限度額・請負代金額の %
第3年度(年度)	%	支払限度額・請負代金額の %

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

7. 契約に関する事項について

(1) 設計図書関係

ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。

イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。

ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

ア 請負代金内訳書 ~~要提出(契約締結後7日以内)~~
提出不要

イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要

ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。

エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。

オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
・施工体制台帳
・施工体系図
・再下請負通知書(再下請負の発注がある場合)

カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

ア 支 給 材 料 ~~あり~~ なし

イ 貸 与 品 ~~あり~~ なし

(5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分 ~~あり~~ なし

(8) 火災保険等の関係

火災保険その他の保険の付保条件 ~~あり~~ なし

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事> において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1箇月以内に監督員に提出すること。
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評価において考慮される事となる。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事

イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事

ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

(1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

(1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。

(2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について（別紙）

特記仕様書

1 工事件名

令和元年度新港地区新港1・2号岸壁係船柱補修工事

2 工事概要

附属工

係船柱工 1式(6基)

3 施工場所

横須賀市新港町地内

4 工期(130日間)

自 平成 年 月 日

至 平成 年 月 日

5 工事仕様

本特記仕様書に定めのない事項については、「港湾工事共通仕様書(社団法人 日本港湾協会発行)」及び「神奈川県土木工事共通仕様書」によるものとし、当該共通仕様書の共通編等における契約条項等は、本市の契約条項等に読み替えて使用する。

ただし、使用材料等の基準が改正された時は、新基準に基づくものとする。

なお、特記仕様書を最優先するものとする。

6 下検査の実施について

しゅん工検査前に、現場代理人が立会いの上、港湾建設課の実施する下検査を受けなければならない。

7 工事基準面について

本工事の工事基準面は、東京湾平均海面-1.020mとする。

8 許可申請書について

工事施工上必要な官公署、その他機関に対する手続き及び交渉等は、本市が折衝にあたる必要があると認める以外は、請負者が連絡を取り十分な協調を保つとともに、工事現場付近の市民に対する周知を行うこと。

9 工事コストの表示について

当初請負金額 1,000 万円以上の工事においては、工事標示看板に工事費として当初請負金額(万円単位)を表示すること。ただし、変更契約時に看板の工事費表示を変更する必要はない。記載例「工事費 1 億 2,500 万円」

10 施工管理について

本工事の施工管理の方法、品質及び出来形の規定値は、日本港湾協会発行の「港湾工事共通仕様書(最新版)」及び神奈川県発行の「土木工事施工管理基準(最新版)」によるものとし、監督員の指示に従い施工管理を行うものとする。ただし、使用材料等の基準が改正されたときは、新基準に基づくものとする。

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理について

(1) 処理方法

舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

(2) 条件

請負者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

(3) 提出書類等

請負者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、請負者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。

また、請負者が濁水の収集運搬を委託した場合は、請負者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

なお、請負者は、産業廃棄物管理票(紙マニフェスト)又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

(4) その他

上記内容について疑義が生じた場合は、別添監督員と協議するものとする。

12 法定外の労災保険について

本工事の現場管理費には、法定外の労災保険の経費を含んでいるので、その写しを提出すること。

13 無石綿(アスベスト)化への対応

本工事で使用する建材は、石綿を原材料としていないものを用いて施工すること。また、下請負者を使用する場合は、同様の内容を周知し、徹底を図ること。

14 熱帯材使用型枠の削減について

本目的は、地球環境保全の観点から、従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板(熱帯材 100%のもの)を代替型枠材料(鋼製型枠、針葉樹型枠、複合型枠等)へ転換することにより、熱帯材使用型枠の使用量を削減し、熱帯材の保全に寄与することを目的とする。

- (1) 従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板(熱帯材 100%のもの)は使用しないものとする。請負者は、これに替わる代替型枠の選定にあたっては、地球環境保全に配慮するとともに、その工事の作業条件等により、請負者の責任と費用負担により選択するものとし、代替型枠について、施工計画書に記載するものとする。
- (2) コンクリート型枠用合板(針葉樹型枠、複合型枠)を使用する場合は、塗装されたものを極力使用し、その型枠の転用の増加を図るものとする。
また、最終的な型枠材料の処理としては、できるだけ再利用等を図るなどして資源のムダ使いを無くすよう努めるものとする。

15 係船柱について

仕様については、下記のとおりとする。

- (1) 中詰コンクリート及び係船柱部増し厚コンクリート
係船柱の中詰及び係船柱部増し厚コンクリートの品質は、係船柱基礎コンクリートと同様とする。
- (2) 係船柱塗装

施工区分	塗装内容	塗装作業範囲
錆止め	錆止めペイント	1回塗り
下塗り	エポキシ樹脂塗料	1回塗り
上塗り	エポキシ樹脂塗料(二液型)	2回塗り

- ・色は橙色(Y09-50X)とする。監督員の承諾を得た後施工するものとする。
- ・港外側から見て左側から番号を明示すること。詳細は監督員の指示を受けること。

16 残土処分について

- (1) 請負者は、再生資源の利用促進に関する法律に基づき、当該現場から発生する建設発生土の利用促進に努めなければならない。
- (2) 請負者は、関係法令を遵守し、安全性等を勘案のうえ、自らの責任において受入先を選定し、適切な施工を確認しなければならない。
- (3) 請負者は、自ら選定した受入地に建設発生土を搬入する場合は、事前に監督員に届け出なければならない。
- (4) 請負者は、別添「建設副産物実態調査に係る特記仕様書」に基づき再生資源利用促進計画書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。

17 処理計画書の提出について

「神奈川県土砂の適正処理に関する条例」(平成11年10月1日施行)により、建設工事に伴い発生する土砂を建設工事の区域から500m³以上搬出する場合は、監督員と速やかに協議し、処理計画書を県知事あてに提出すること。

18 建設発生土の搬出先への情報提供について

請負者は、本工事から他の市町村へ 100m³ 以上の建設発生土を搬出する場合は、「建設発生土搬出のお知らせ」により搬出前に搬出先市町村の建設発生土担当窓口あてに建設発生土に関する下記の情報を郵送・FAX 等で提出しなければならない。

なお、情報提供後、速やかにその写しを監督員に提出しなければならない。

- (1) 工事件名、工事概要、工事場所
- (2) 工事発注機関名、工事発注機関監督職員名、連絡先
- (3) 工事請負号者名、現場代理人名、連絡先
- (4) 建設発生土の運搬業者名
- (5) 建設発生土の受入先名（搬出先事業所名等）、住所
- (6) 建設発生土の発生場所から受入地までの運搬経路
- (7) 建設発生土の搬出時期（搬出機関）
- (8) 建設発生土の土質（砂、ローム等）、土量（m³）

19 建設リサイクル法について

平成 14 年 5 月 30 日施行「建設リサイクル法」に基づき、必要な書類を工事主管課に提出すること。ただし、請負金額が 500 万円未満の場合は、不要とする。

20 出来形について

出来形については、管理図により出来形図表を作成するとともに、設計図に朱色で完成寸法を入れた資料を提出すること。

21 しゅん工図について

- (1) A3 判しゅん工図（原図・課長までの決裁を取ったもの）
- (2) A3 判しゅん工図（しゅん工書類に添付）
- (3) しゅん工図面を CD に記録し提出すること。

なお、CD への記録は (1) の図面を原寸のまま 400dpi でスキャンし、PDF 形式にて記録すること。また CD 表面には「施工年度」、「工事名称」、「請負者名」、「監督員名」を記入すること。詳細は監督員の指示に従うこと。

22 工事写真帳について

- (1) 工事写真アルバム（32cm×33.5cm、緑色）を使用し、2 冊以上になる場合には、（2 の 1）、（2 の 2）と表示すること。
- (2) 表紙に、工事名・工事場所・工期・発注者名・施工社名を記入し社印を押印する。また背表紙をつけること。
- (3) 上記提出方法以外で工事写真帳を提出する場合は、監督員の承諾によるものとする。

23 しゅん工検査時に必要な書類について

横須賀市ホームページ＞市政情報＞入札・契約・検査＞検査情報＞[土木工事関係書類一覧表](#)

[\(H30.4.1 時点\)](#) を参照し作成すること。

なお、上記一覧表以外の書類については、監督員の指示によるものとする。

24 施工実態調査について

本工事で実施する下記工種について施工実態を把握したく、作業完了後、提示した入力の手引きに従い調査票に実績を入力したものを印刷し、しゅん工書類に添付すること。

併せて電子媒体（CD等）で提出すること。詳細調査がある場合は、施工計画書「PDF形式」、施工写真「JPEG形式」（施工状況の分かるもの数枚）も電子媒体（CD等）で提出すること。

なお電子媒体については提出前に監督員に相談すること。

番号	調査票工種名	モニタリング調査対象となる工種	詳細調査対象工種	本工事対象工種
1	浚渫・埋立工	浚渫、床掘、埋立および土取等のポンプ浚渫、グラブ浚渫	バックホ 浚渫工	
2	排砂管設備工	浚渫土砂等の排送に伴う排砂管設備の施工	—	
3	土捨工	浚渫、床掘、埋立および土取土砂の土運船運搬	—	
4	揚土工	浚渫土砂等の空気圧送船、バージアンローダ船およびリクレマ船等による揚土	—	
5	海上地盤改良工	海上で行う港湾・海岸構造物の基礎地盤の改良	—	
6	石材等投入均し工	<ul style="list-style-type: none"> ・防砂目地板及び吸出し防止の施工 ・置換砂、敷砂、差異化土砂、盛砂の土砂の投入・均しの施工 ・捨石、被覆石及び裏込石の石材均しの施工 ・捨石、被覆石及び裏込石の石材均しの施工 	機械均し工	
7	洗掘防止工	基礎工、消波工底面等に洗掘防止で敷設するアスファルトマット、帆布および合成樹脂マットで敷設する帆布	—	
8	ケーン製作工	ケーン製作台船製作、陸上製作及び海上打継等のケーン製作	—	
9	ケーン据付工	ケーンの進水、仮置及び据付（中詰材、止水板および上蓋の施工含む）	—	
10	ブロック製作工		ブロック 製作工	
11	ブロック据付撤去工	各種本体ブロック、各種プレキャストブロック（蓋コンクリート等）、異形ブロックの運搬据付及び撤去	—	
12	矢板等打設引抜工		鋼矢板式 鋼杭式	
13	控工		鋼矢板式 鋼杭式	
14	コンクリート構造物工	本体、蓋、上部および控頂部等の場所（現場）打ちコンクリートの施工	海上コンクリート 打設工	○
15	付属工等	車止め、縁金物の取替	—	○
16	舗装工		舗装工	○

25 その他

- (1) 本仕様書及び本仕様書に記載無き事項で疑義が生じた場合は、監督員と協議の上決定すること。
- (2) 本工事に使用する剥離剤は、水溶性のものをを使用すること。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

1 元請業者は、建設資材利用量の大小や有無及び建設副産物発生量・搬出量の大小や有無にかかわらず、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。

ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。

なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源有効利用促進法」で定められた「再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）の作成」を兼ねるものとする。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備 考
搬入する 建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト混合物	
	土砂	
	砕石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する 建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A (柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B (立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
	その他の分別された廃棄物	
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土 (建設汚泥を除く)		

- 2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。
- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ<http://www.recycle.jacic.or.jp/>から建設副産物情報交換システムにログインする。
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
 - (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
 - (3) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画)」を印刷し、監督員に提出する。
 - (4) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。
 - (5) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
 - (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(実施)」を印刷し、監督員に提出する。
 - (7) 建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、再生資源利用(促進)計画書、再生資源利用(促進)実施書および建設リサイクル法に基づく再資源化報告書は監督員に提出されたものとみなす。

3 データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山 m_3 」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締め m_3 」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

- 掘削 100 m_3
 埋戻し 20 m_3 (締め m_3)・・・「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。
 22 m_3 (地山 m_3)・・・「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。
 20 m_3 / 変化率C (仮に0.9とする) = 22 m_3
 処分 78 m_3 (地山 m_3)・・・「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。
 100 m_3 - 22 m_3 = 78 m_3

(2) 建設資材利用について

- ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。
- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。
 - ・建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県建設リサイクル資材認定資材一覧表（以下、認定一覧表という）を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目 (建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土砂	再生改良土
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
砕石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック (平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
	再生骨材コンクリート
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

- イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。
- ウ RC-10（再生砂）を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材A・B、建設汚泥、建設発生土（第一種～第四種建設発生土及び浚渫土））について

- ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を神奈川県のコンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。
- イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを神奈川県の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。
- ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を神奈川県の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。
- エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。
- オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード（再利用の目的がある場合）」と選択する。

施工条件明示事項

1. 当該工事の施工条件明示事項は、下記表□内の黒塗り部分が対象となる。ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではない。
2. なお、請負者は下記明示事項やそれ以外に該当すると思われるもので、明示されていない場合には、その都度監督員と協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項
■工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限（準備工期の設定等） <input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立 <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響 <input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間 <input type="checkbox"/> 設計上、見込んである休日日数等以外の作業不能日数
□用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分 <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地 <input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用 <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容
■周辺環境関係 (公害、排水等)	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）対策 <input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設 <input checked="" type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策 <input type="checkbox"/> 事業損失防止関係
■安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定 <input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限 <input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設 <input type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策
□工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限 <input type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置 <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置 <input type="checkbox"/> 一般道路の占用
□仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物（仮土留、足場等）の他の工事への転用若しくは兼用 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定
■建設副産物関係	<input checked="" type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件 <input type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理
□薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工 <input type="checkbox"/> 周辺環境への調査
□工事支障物件等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在 <input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工
□その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き <input type="checkbox"/> 工事現場発生品 <input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品 <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等 <input type="checkbox"/> 架設工法の指定 <input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定 <input type="checkbox"/> 部分使用 <input type="checkbox"/> 給水の必要 <input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書

施工条件明示の事例

■工程関係

1. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限

輸出自動車、荷役等で岸壁を利用することがあるので、岸壁利用者と施工時期及び施工方法について調整を図ること。

2. 関係機関等との協議条件による影響

岸壁利用者及び横須賀港埠頭管理事務所との協議により、施工時期の制限がかかる場合があるので調整を図ること。

■周辺環境関係

3. 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策

輸出自動車は施工現場周辺に存在することがあるので、各工種施工時は自動車を汚さないよう飛散防止に努めること。

4. 濁水、湧水等の処理対策

舗装切断時に発生する濁水の処理については、別添特記仕様書「舗装切断時に発生する濁水の処理について」のとおりとする。

■安全対策関係

5. 交通安全施設等の指定

本工事においては、港湾用地内での作業となるため交通誘導員は配置しない。ただし管理用車両、輸出車等が通行する場合があるので、施工範囲をバリケード等で表示するなど配慮すること。

■建設副産物関係

6. 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件

本工事の残土の仮置きは、新港ふ頭内の監督員の指示した場所(片道運搬距離 0.3km)に搬入するものとする。また、仮置き場所では残土の流出及び飛散防止に努めること。

7. 建設副産物及び建設廃棄物の処理

本工事の施工により発生する建設副産物の処理については下記のとおりとする。

種 類	受入れ場所	運搬距離	受入れ条件
コンクリート塊	県で登録を受けた工場	L=8.6km	処分場の決まりのとおり
路盤材	県で登録を受けた工場	L=8.6km	処分場の決まりのとおり
金属屑	(株)門倉商店	L=6.5km	処分場の決まりのとおり

1. 処分は上記内容で積算をしている。
2. 建設副産物の搬出に際しては、再生資源の活用の促進に関する法律に基づく再生資源利用促進計画書(実施書)を作成し監督職員に提出しなければならない。

積算諸条件調書に係る追加事項

1 市独自単価及び積算における補足資料について

本設計積算書内（市独自単価一覧表）に記載の資材単価は、「ホームページ（各部署の工事積算情報）」の「市独自単価一覧表」に掲載しています。又当該頁に併せて積算における補足資料も掲載しています。 <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/1623/koujitousekisann.html>

2 港湾・漁港工事積算基準コード対応について

港湾請負工事積算基準を適用している場合は、独自のコードを使用している。
出典などを記載した対応表を港湾部のホームページで公開している。
http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6630/minato/kensetu/kouwan_tanka.html

3 単価表コードについて

設計積算書の各単価表コードは、以下のとおりである。
港湾請負工事積算基準適用：DH…、DHG…、DHT…、CH…
神奈川県土木工事標準積算基準書適用：WB…、CB…、WK…、D…、CD…
下水道用設計標準歩掛表適用：DKG…、DKK…
なお、神奈川県土木工事標準積算基準書を使用する場合は、神奈川県土木工事標準積算基準書の施工単価入力基準表のコードに適用している。

4 市場単価の端数処理について

市場単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。
なお、単価補正が行われた場合の単価は、小数点以下第2位（少数点以下第3位四捨五入）まで計算し、数量×単価＝金額を算出している。

5 土砂検定費について

単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象となりません。

6 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について

桁等購入費 あり なし

7 施工パッケージ型積算のタイヤ損耗費及び補修費への対応について

ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額を計上している。

8 仮設材賃料の補正について

供用月当り賃料区分が変わることにより、日数の増加に比例せず金額が減少する場合には、減少する時点の上限額として、減額補正をしている。

9 コンクリート単価について

生コンクリート「18-8(高炉)、水セメント比65%以下」の規格を満足させるには、横須賀市生コンクリート協同組合各社において、「21-8(高炉)、水セメント比指定なし」となるため、積算では、「21-8(高炉)、水セメント比指定なし」の単価を計上している。

10 基準書等の適用について

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| (1) 港湾請負工事積算基準 | 平成31年度版 |
| (2) 漁港漁場関係工事積算基準 | 平成31年度版 |
| (3) 土木工事標準積算基準書(土木工事編I, II) | 令和元年7月1日版 |
| (4) 積算参考資料(土木工事編) | 令和元年7月1日版 |
| (5) 土木工事標準積算基準(電気・機械編) | 令和元年7月1日版 |
| (6) 下水道用設計標準歩掛表 | 平成31年度版 |
| (7) 船舶および機械器具等の損料算定基準 | 平成30年度版 |
| (8) 建設機械等損料表 | 令和元年度版 |

令和 01 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)	
設 計 書 番 号	年度 01
事 業 所 名	横須賀市港湾部
(工 事 ・ 業 務) 名	令和元年度新港地区新港1・2号岸壁係船柱補修工事
(工 事 ・ 業 務) 簡 所	横須賀市新港町地内
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	横須賀港 (新港地区)
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	130 日間
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	
(起 工 ・ 変 更) 理 由	

横須賀市

令和 01 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	09 土木費
項	04 港湾費
目	02 港湾施設整備費
節	15 工事請負費
細節	51 工事請負費[建設目]

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
		前回変更請負額(b2)				
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 01 年度 積算諸条件調書 (当初)

経費等情報	主たる工種	【港湾】 構造物工事
	施工地域・工事場所区分	【港湾】 重要港湾・地方港湾 (1)
	現場環境改善費計上区分	計上しない
	緊急工事による補正	補正しない
	前払金支出割合	35%を超える場合
	契約保証の方法	金銭的保証
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)	
	共通仮設費率補正	0.00%
	現場管理費率補正	0.00%
	一般管理費率補正	0.00%
	間接労務費・工場管理費計上区分	
	漁港漁場 (港湾) 工事積算基準書 適用年版	令和01年度 適用
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和01年7月1日基準

積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
護岸・岸壁・物揚場			1	式			
構造物撤去工			1	式			
取壊し工			1	式			第 0001 号 内訳書
土工			1	式			
作業土工 (床掘工)			1	式			第 0002 号 内訳書
作業土工 (埋戻工)			1	式			第 0003 号 内訳書
土工			1	式			第 0004 号 内訳書
付属工			1	式			
係船柱工			1	式			第 0005 号 内訳書
舗装工			1	式			
アスファルト舗装工			1	式			第 0006 号 内訳書
直接工事費計			1	式			

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費計							
			1	式			
技術管理費							
			1	式			第 0940 号 内訳書
共通仮設費 (率分)							
			1	式			【千円止】
純工事費							
			1	式			
現場管理費							
			1	式			【千円止】
工事原価							
			1	式			
一般管理費等							
			1	式			
スクラップ評価額							
			1	式			第 0985 号 内訳書
工事価格							
			1	式			【万円止】
消費税及び地方消費税相当額							
			1	式			
本工事費計							
			1	式			

第0001号 内訳書
取壊し工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0040) 舗装版取壊し					第0001号下内
	1	式			
(AMA0030) 上部工取壊し					第0002号下内
	1	式			
(AMA0060) 給水施設撤去工					第0003号下内
	1	式			
合 計					

第0002号 内訳書
作業土工 (床掘工)

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0140) 床掘り					第0004号下内
	1	式			
合 計					

第0003号 内訳書
作業土工 (埋戻工)

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0150) 埋戻し					第0005号下内
	1	式			
合 計					

第0004号 内訳書
土工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0160) 積込 (ルーズ)	1	式			第0006号下内
(AMA0120) 土砂等運搬	1	式			第0007号下内
(AMA0130) 残土等処分	1	式			第0008号下内
合 計					

第0005号 内訳書
係船柱工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 係船柱	1	式			第0009号下内
合 計					

第0006号 内訳書
アスファルト舗装工

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0020) 下層路盤	1	式			第0010号下内
(AMA0080) 上層路盤	1	式			第0011号下内
(AMA0090) 基層	1	式			第0012号下内
(AMA0100) 表層	1	式			第0013号下内
合 計					

第0940号 内訳書
技術管理費

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 技術管理					第0014号下内
	1	式			
合 計					

第0985号 内訳書
スクラップ評価額

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0050) 鉄スクラップ ヘビーH4					
	0.197	t			
合 計					

第0001号 下位内訳書
 AMA0040 舗装版取壊し

1 式 当り
 適用年版 T0107
 (上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB430510) 舗装版切断					第0001号単価表
J01=コンクリート舗装版, J03=15cmを超え30cm以下, J05=全ての費用	193	m			
(SJ0030) 舗装版切断濁水処理工					第0002号単価表
	1	式			
(CB430310) 舗装版破碎					第0003号単価表
J01=コンクリート舗装版, J02=無し, J03=不要, J04=15cmを超え35cm以下, J06=有り, J07=全ての費用	631	m2			
(CH115010) コンクリートガラ運搬					第0004号単価表
J01=舗装版破碎, J02=機械(騒対不要, 15cm超)(騒対要), J03=有り, J09=0.0km以下	157	m3			
(Z132597020) 廃材処理料 (東部地区) 有筋C.0殻					
	157	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0002号 下位内訳書
AMA0030 上部工取壊し

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH115010) 構造物取壊し					第0005号単価表
J01=無筋構造物, J02=機械施工, J03=無し, J04=無し, J05=不要	15	m3			
(CH115010) コンクリートがら運搬					第0006号単価表
J01=コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし, J02=機械積込, J03=有り, J05=11.0km以下	15	m3			
(Z132597010) 廃材処理料(東部地区) 無筋C o 殻					
	15	m3			
合 計					
	1	式			
					円/式

第0003号 下位内訳書
AMA0060 給水施設撤去工

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) 給水栓切断・閉栓工(材工共) SP75					
	1	箇所			
(CB010410) 現場発生品・支給品運搬					第0007号単価表
J01=クレーン装置付2t級2t吊, J02=9.0km以下, J03=0.1t超0.2t以下	1	回			
合 計					
	1	式			
					円/式

第0004号 下位内訳書
AMA0140 床掘り

1 式 当り
適用年版 T0107

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CH112110) 床掘り					第0008号単価表
J01=土砂, J02=標準, J03=無し, J04=無し	162	m3			路盤
(CH112110) 床掘り					第0008号単価表
J01=土砂, J02=標準, J03=無し, J04=無し	374	m3			路床
合 計					
	1	式			円/式

第0005号 下位内訳書
AMA0150 埋戻し

1 式 当り
適用年版 T0107

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CH112140) 埋戻し					第0009号単価表
J01=上記以外(小規模), J02=土砂	92	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0006号 下位内訳書
AMA0160 積込(ルーズ)

1 式 当り
適用年版 T0107

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CH112070) 積込(ルーズ)					第0010号単価表
J01=土砂, J02=土量50,000m3未満	92	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0007号 下位内訳書
AMA0120 土砂等運搬

1 式 当り
適用年版 T0107

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CH112020) 土砂等運搬					第0011号単価表
J01=標準, J02=ハック材山積0.8m3(平積0.6m3), J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む), J04=有り, J06=11.0km以下	282	m3			発生土処分
(CH112020) 土砂等運搬					第0011号単価表
J01=標準, J02=ハック材山積0.8m3(平積0.6m3), J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む), J04=有り, J06=11.0km以下	162	m3			路盤材処分
(CH112020) 土砂等運搬					第0012号単価表
J01=標準, J02=ハック材山積0.8m3(平積0.6m3), J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む), J04=無し, J05=0.3km以下	92	m3			現場～仮置場
(CH112020) 土砂等運搬					第0012号単価表
J01=標準, J02=ハック材山積0.8m3(平積0.6m3), J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む), J04=無し, J05=0.3km以下	92	m3			仮置場～現場
合 計					
	1	式			円/式

第0008号 下位内訳書
AMA0130 残土等処分

1 式 当り
適用年版 T0107

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(UZA000350) 建設発生土処分費(確認処分) 10t車(昼間:地山)					
	282	m3			
(Z132597040) 廃材処理料(東部地区) 路盤材(上層・下層)					
	162	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0009号 下位内訳書
AMA0010 係船柱

1 式 当り
適用年版 T0107

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 差筋工 D13 (SD295A)	108	本			第0013号単価表
(DH106180) 伸縮目地 J01=発泡体系	8	m2			第0017号単価表
(DH106090) 鉄筋加工組立 J01=SD295A D13, J02=重力式・鋼矢板式, J03=有り, J04=陸上, J05=ラフレンクレーン, J06=(油圧伸縮ジブ型)16t吊	8,143	kg			第0018号単価表
(DH106120) 鋼製型枠組立組外(重力式) J01=陸上, J02=ラフレンクレーン, J03=(油圧伸縮ジブ型)16t吊	185	m2			第0020号単価表
(DH107020) 架台取付 J01=1000kN~1500kN未満	6	基			第0021号単価表
(DH107010) 係船柱取付 J01=陸上, J02=1000kN以上, J04=ラフレンクレーン, J05=(油圧伸縮ジブ型)16t吊	6	基			第0022号単価表
(DH106190) コンクリート打設 J01=ポンプ車打設, J02=鉄筋, J03=50m3以上(標準)	535	m3			第0023号単価表
(DH107030) 係船柱塗装 J01=錆止+下塗+上塗(2回), J02=5m2以上(標準)	11	m2			第0024号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0010号 下位内訳書
AMA0020 下層路盤

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113040) 路盤材敷均し転圧(人力) J01=142.0 m2, J02=21.3 m3, J03=再生粒度 調整碎石, J04=%, J05=25 %, J06=%, J07= %, J08=%, J09=標準, J10=2 層	142	m2			第0025号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0011号 下位内訳書
AMA0080 上層路盤

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113040) 路盤材敷均し転圧(人力) J01=154.4 m2, J02=23.2 m3, J03=再生粒度 調整碎石, J04=%, J05=25 %, J06=%, J07= %, J08=%, J09=標準, J10=2 層	154	m2			第0027号単価表
(DH113040) 路盤材敷均し転圧(人力) J01=217 m2, J02=32.6 m3, J03=再生粒度調 整碎石, J04=%, J05=25 %, J06=%, J07= %, J08=%, J09=標準, J10=2 層	217	m2			第0028号単価表 路盤恢復旧
合 計					
	1	式			円/式

第0012号 下位内訳書
AMA0090 基層

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113210) 人力舗設					第0029号単価表
J01=粗粒度アスファルトコンクリート, J02=5cm, J03=2.35 t/m3, J04=基層施工前, J05=t≤5cm	217	m2			アスファルト基層仮復旧
合 計					
	1	式			円/式

第0013号 下位内訳書
AMA0100 表層

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113210) 人力舗設					第0031号単価表
J01=密粒度アスファルトコンクリート, J02=5cm, J03=2.32 t/m3, J04=表層・中間層施工前, J05=t≤5cm	217	m2			アスファルト表層仮復旧
合 計					
	1	式			円/式

第0014号 下位内訳書
AMA0070 技術管理

1 式 当り
適用年版 T0107
(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0020) 施工実態調査					第0032号単価表
	1	式			
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表 機労材構成比情報
CB430510 舗装版切断

1 m 当り
適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
コンクリートカッタ【パキューム式・湿式】			【損料】		M001161011
超低騒音型 切削深30cm級	M001161011				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
普通作業員					R0102
	R0102				
コンクリートカッタ (プレート)					Z006540005
径30インチ	Z006540005				
コンクリートカッタ (プレート)					Z006540003
径22インチ	Z006540003				
コンクリートカッタ (プレート)					Z006540008
径14インチ	Z006540008				
ガソリン					Z006704001
レギュラー	Z006704001				
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	
条件名称	入力値	条件値			
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版			
J03 コンクリート舗装版厚	2	15cmを超え30cm以下			
J05 費用の内訳	1	全ての費用			

第0002号 単価表
 SJ0030 舗装版切断濁水処理工

1 式 当り
 適用年版 T0107
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z132542800) 舗装版切断濁水運搬費 ダンプトラック 4 t 積級	1	回			
(Z132543810) 舗装版切断濁水処分費 (東部地区) コンクリート舗装版	3.143	m ³			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第0003号 単価表 機労材構成比情報
CB430310 舗装版破碎

1 m2 当り
適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
パックホウ(クロー) [標準] 山積0.45m3(平積0.35m3)	L001010003		【賃料】		L001010003
大型ブレード(ペ-スミン含まず) [油圧式] 質量600~800kg級	M000604005		【損料】		M000604005
運転手(特殊)	R0114				R0114
普通作業員	R0102				R0102
土木一般世話役	R0125				R0125
軽油 1.2号	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条件名称	入力値	条件	値		
J01 舗装版種別	2	コンクリート舗装版			
J02 障害等の有無	1	無し			
J03 騒音振動対策	1	不要			
J04 舗装版厚	7	15cmを超え35cm以下			
J06 積込作業の有無	1	有り			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第0004号 単価表 機労材構成比情報
CH115010 コンクリートカーラ運搬

1 m3 当り
適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ティール]			【損料】		M302590000
10t積級	M304076000				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z305010250
1.2号 バトル給油	Z305010250				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 殻発生作業	2		舗装版破碎		
J02 積込工法区分	3		機械(騒対不要, 15cm超)(騒対要)		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J09 運搬距離	9		9.0km以下		

第0005号 単価表
DH115010 構造物取壊し

10 m3 当り
適用年版 T0107

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
(Q304601010) -00004 無筋構造物 昼間 機械施工 制約無	10	m3			
合計					
	1	m3			円/m3
条件名称	入力値		条件値		
J01 構造物区分	1		無筋構造物		
J02 工法区分	1		機械施工		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 低騒音・低振動対策	2		不要		

第0006号 単価表 機労材構成比情報
 CH115010 コンクリートカーラ運搬

1 m3 当り
 適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ガンボトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	M304076000		【損料】		M302590000
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油 1.2号 バトロ#給油	Z305010250				Z305010250
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値	条件値			
J01 穀発生作業	1	コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし			
J02 積込工法区分	1	機械積込			
J03 DID区間の有無	2	有り			
J05 運搬距離	12	11.0km以下			

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
トラック[クレーン装置付]			【損料】		M000302009
ベ-トラック2t級 吊能力2.0t	M000302009				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
普通作業員					R0102
	R0102				
軽油					Z006702002
1.2号	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 回	当り		円/回	
条件名称	入力値	条件値			
J01 トラック機種	1	クレーン装置付2t級2t吊			
J02 片道運搬距離(km)	3	9.0km以下			
J03 1回当り平均積載質量(t)	2	0.1t超0.2t以下			

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
バックホ(クローラ型)[標準型・排対型(第2次)]			【損料】		M302451000
標準バックホ容量 山積0.8m3/平積0.6m3	M302451000				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z305010250
1.2号 バックホ給油	Z305010250				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 土質	1		土砂		
J02 施工方法	1		標準		
J03 土留方式の種類	1		無し		
J04 障害の有無	1		無し		

第0009号 単価表 機労材構成比情報
 CH112140 埋戻し

1 m3 当り
 適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回・排対型(2次)] 標準バケット容量 山積0.28m3/平積0.2m3	M304071000		【損料】		M304071000
ランマ 質量60～80kg	M303650000		【損料】		M303650000
普通作業員	R0102				R0102
特殊作業員	R0101				R0101
運転手(特殊)	R0114				R0114
軽油 1.2号 バトロ-給油	Z305010250				Z305010250
ガソリン レギュラー スタッド	Z304010030				Z304010030
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値	条件	値		
J01 施工方法	5	上記以外(小規模)			
J02 土質	1	土砂			

第0010号 単価表 機労材構成比情報
 CH112070 積込(ルース)

1 m3 当り
 適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
バケット(クローラ型) [標準型・排対型(第2次)]			【損料】		M302451000
標準バケット容量 山積0.8m3/平積0.6m3	M302451000				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z305010250
1.2号 バトル給油	Z305010250				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件	値	
J01 土質	1		土砂		
J02 作業内容	1		土量50,000m3未満		

第0011号 単価表 機労材構成比情報
CH112020 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	M304076000		【損料】		M302590000
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油 1.2号 バトル給油	Z305010250				Z305010250
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値	条件値			
J01 土砂等発生現場	1	標準			
J02 積込機種・規格	1	バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)			
J03 土質	1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
J04 DID区間の有無	2	有り			
J06 運搬距離	12	11.0km以下			

第0012号 単価表 機材構成比情報
CH112020 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0107

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	M304076000		【損料】		M302590000
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油 1.2号 バトル給油	Z305010250				Z305010250
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 土砂等発生現場	1		標準		
J02 積込機種・規格	1		バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)		
J03 土質	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無	1		無し		
J05 運搬距離	1		0.3km以下		

第0013号 単価表
SJ0010 差筋工
D13 (SD295A)

100 本 当り
適用年版 T0107
(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
(DH117080) 削孔(ハンマドリル)	100	孔			第0014号単価表
(TJ0010) あと施工アンカー(材工共) 樹脂カプセル(D16用)	100	本			
(WB810010) 鉄筋工[市場単価]	0.101	t			第0016号単価表
合計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0014号 単価表
DH117080 削孔(ハンマドリル)

100 孔 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(DHT22110) 発動発電機(雑工(削孔工)による場合)2kVA		日			第0015号単価表 [1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ [1] * 0.24	1	式			
合 計		孔			円/孔
	1				

第0015号 単価表
DHT22110 発動発電機(雑工(削孔工)による場合)2kVA

1 日 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010050) -00005 ガソリン レギュラー		L			
(L301030010) 発動発電機 2kVA		日	【賃料】		
合 計		日			円/日
	1				

第0016号 単価表
WB810010 鉄筋工[市場単価]

1 t 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要																														
(Z001102028) 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295A D16	1.03	t			[1]																														
(Q001001008) 鉄筋工 加工・組立共 差筋及び杭頭処理	1	t			[1]																														
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式																																	
合 計																																			
	1	t			円/t																														
<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="text-align:left">条 件 名 称</td> <td style="text-align:center">入 力 値</td> <td style="text-align:center">条 件 値</td> </tr> <tr> <td>J01 鉄筋材料規格・径</td> <td style="text-align:center">3</td> <td>SD295A D16</td> </tr> <tr> <td>J02 規格・仕様区分</td> <td style="text-align:center">1</td> <td>一般構造物</td> </tr> <tr> <td>J03 施工規模</td> <td style="text-align:center">2</td> <td>10t未満</td> </tr> <tr> <td>J04 時間的制約を受ける場合の補正</td> <td style="text-align:center">2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>J05 夜間作業補正</td> <td style="text-align:center">2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>J06 トンネル内作業の補正</td> <td style="text-align:center">2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>J07 法面作業の補正</td> <td style="text-align:center">2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>J08 太径鉄筋補正</td> <td style="text-align:center">1</td> <td>補正無(鉄筋割合10%未満含む)</td> </tr> <tr> <td>J09 構造物種別による補正</td> <td style="text-align:center">6</td> <td>差筋及び杭頭処理</td> </tr> </table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 鉄筋材料規格・径	3	SD295A D16	J02 規格・仕様区分	1	一般構造物	J03 施工規模	2	10t未満	J04 時間的制約を受ける場合の補正	2	無	J05 夜間作業補正	2	無	J06 トンネル内作業の補正	2	無	J07 法面作業の補正	2	無	J08 太径鉄筋補正	1	補正無(鉄筋割合10%未満含む)	J09 構造物種別による補正	6	差筋及び杭頭処理
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値																																	
J01 鉄筋材料規格・径	3	SD295A D16																																	
J02 規格・仕様区分	1	一般構造物																																	
J03 施工規模	2	10t未満																																	
J04 時間的制約を受ける場合の補正	2	無																																	
J05 夜間作業補正	2	無																																	
J06 トンネル内作業の補正	2	無																																	
J07 法面作業の補正	2	無																																	
J08 太径鉄筋補正	1	補正無(鉄筋割合10%未満含む)																																	
J09 構造物種別による補正	6	差筋及び杭頭処理																																	

第0017号 単価表
DH106180 伸縮目地

100 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要						
(Q301102010) 伸縮目地工(発泡体系) t=10mm	100	m2									
合 計											
	1	m2			円/m2						
<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="text-align:left">条 件 名 称</td> <td style="text-align:center">入 力 値</td> <td style="text-align:center">条 件 値</td> </tr> <tr> <td>T01 伸縮目地材の指定</td> <td style="text-align:center">2</td> <td>発泡体系</td> </tr> </table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	T01 伸縮目地材の指定	2	発泡体系
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値									
T01 伸縮目地材の指定	2	発泡体系									

第0018号 単価表
DH106090 鉄筋加工組立

1,000 kg 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z301010110) 鉄筋(異形) SD295A D13	1,030	kg			
(Q300503010) 鉄筋加工組立(上部工製作) クレーン抜き	1,000	kg			
(DHT20850) ラフテレンクレーン(排出ガス対策型)(油圧伸縮ジブ型)		日			第0019号単価表
合 計					
	1	kg			円/kg
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 鉄筋の指定	3		SD295A D13		
J02 構造形式	2		重方式・鋼矢板式		
J03 クレーン類の有無(引船含む)	2		有り		
J04 施工区分	1		陸上		
J05 陸上クレーン類の種類	1		ラフテレンクレーン		
J06 ラフテレンクレーンの規格	1		(油圧伸縮ジブ型)16t吊		

第0019号 単価表
DHT20850 ラフテレンクレーン(排出ガス対策型)(油圧伸縮ジブ型)16t吊

1 日 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(L301010250) ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 16t吊		日	【賃料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0020号 単価表
DH106120 鋼製型枠組立組外(重力式)

100 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q300704010) 鋼製型枠組立組外(重力式) クレーン抜き	100	m2			
(DHT20850) ラフテレンクレーン(排出ガス対策型)(油圧伸縮シブ型)		日			第0019号単価表
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 施工区分	1	陸上			
J02 陸上クレーン類の種類	1	ラフテレンクレーン			
J03 ラフテレンクレーンの規格	1	(油圧伸縮シブ型)16t吊			

第0021号 単価表
DH107020 架台取付

1 基 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q301202050) 架台現場製作工 1000-1500kN未満	1	基			
(Q301203050) 架台取付 1000-1500kN未満	1	基			
合 計					
	1	基			円/基
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 係船柱規格	5	1000kN~1500kN未満			

第0022号 単価表
DH107010 係船柱取付

1 基 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要															
(Y300203200) -00002 係船柱 1000kN (曲柱)	1	基																		
(Q301201070) 係船柱取付 1000kN以上(陸上)クレーン抜き	1	基																		
(DHT20850) ラフテレーンクレーン(排出ガス対策型)(油圧伸縮ジブ型)		日			第0019号単価表															
合 計																				
	1	基			円/基															
<table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">条 件 名 称</td> <td style="width:33%;">入 力 値</td> <td style="width:33%;">条 件 値</td> </tr> <tr> <td>J01 施工区分</td> <td>1</td> <td>陸上</td> </tr> <tr> <td>J02 係船柱規格</td> <td>4</td> <td>1000kN以上</td> </tr> <tr> <td>J04 クレーン類の機種</td> <td>1</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> </tr> <tr> <td>J05 ラフテレーンクレーンの規格</td> <td>1</td> <td>(油圧伸縮ジブ型)16t吊</td> </tr> </table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 施工区分	1	陸上	J02 係船柱規格	4	1000kN以上	J04 クレーン類の機種	1	ラフテレーンクレーン	J05 ラフテレーンクレーンの規格	1	(油圧伸縮ジブ型)16t吊
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値																		
J01 施工区分	1	陸上																		
J02 係船柱規格	4	1000kN以上																		
J04 クレーン類の機種	1	ラフテレーンクレーン																		
J05 ラフテレーンクレーンの規格	1	(油圧伸縮ジブ型)16t吊																		

第0023号 単価表
DH106190 コンクリート打設

10 m3 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要												
(Y300002500) -00001 生コンクリート(高炉) 21-8-25 (20) W/C指定無	10.2	m3															
(Q300804010) コンクリート打設(上部工製作) ポンプ車	10	m3															
合 計																	
	1	m3			円/m3												
<table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">条 件 名 称</td> <td style="width:33%;">入 力 値</td> <td style="width:33%;">条 件 値</td> </tr> <tr> <td>J01 コンクリート打設方式</td> <td>1</td> <td>ポンプ車打設</td> </tr> <tr> <td>J02 鉄筋・無筋の選択</td> <td>1</td> <td>鉄筋</td> </tr> <tr> <td>J03 施工規模</td> <td>1</td> <td>50m3以上(標準)</td> </tr> </table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 コンクリート打設方式	1	ポンプ車打設	J02 鉄筋・無筋の選択	1	鉄筋	J03 施工規模	1	50m3以上(標準)
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値															
J01 コンクリート打設方式	1	ポンプ車打設															
J02 鉄筋・無筋の選択	1	鉄筋															
J03 施工規模	1	50m3以上(標準)															

第0024号 単価表
DH107030 係船柱塗装

100 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q301801010) 係船柱塗装 錆止+下塗+上塗(2回)	100	m2			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 塗装内容	1		錆止+下塗+上塗(2回)		
J02 施工規模	1		5m2以上(標準)		

第0025号 単価表
DH113040 路盤材敷均し転圧(人力)

757 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300006900) -00008 再生粒度調整砕石 RM-40	141.94	m ³			[1]
(DHT21800) 振動ローラ(排出ガス対策型) 搭乗式 コンパインド型		日			第0026号単価表 [1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ[1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	m ²			円/m ²
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工数量	142		142.0	m ²	
J02 路盤材の実容積	21.3		21.3	m ³	
J03 路盤材の種類	6		再生粒度調整砕石		
J04 路盤材の割増率			%		
J05 路盤材の割増率	25		25 %		
J06 路盤材の割増率			%		
J07 路盤材の割増率			%		
J08 路盤材の割増率			%		
J09 作業難易度	1		標準		
J10 転圧層数	2		2層		

第0026号 単価表

DHT21800

振動ロー(排出ガス対策型) 搭乗式 コンバインド型 3~4t

1 日 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010090) -00007 軽油 1.2号		L			
(R0114) 運転手(特殊)		人			
(M303640000) 振動ロー[搭乗・コンバインド式・排対型(第1次)] 運転質量3~4t		時間	【損料】		
(M303640000) 振動ロー[搭乗・コンバインド式・排対型(第1次)] 運転質量3~4t		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0027号 単価表
DH113040 路盤材敷均し転圧(人力)

757 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300006900) -00008 再生粒度調整碎石 RM-40	142.18	m ³			[1]
(DHT21800) 振動ローラ(排出ガス対策型) 搭乗式 コンパント型		日			第0026号単価表 [1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ [1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	m ²			円/m ²
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工数量	154.4		154.4	m ²	
J02 路盤材の実容積	23.2		23.2	m ³	
J03 路盤材の種類	6		再生粒度調整碎石		
J04 路盤材の割増率			%		
J05 路盤材の割増率	25		25	%	
J06 路盤材の割増率			%		
J07 路盤材の割増率			%		
J08 路盤材の割増率			%		
J09 作業難易度	1		標準		
J10 転圧層数	2		2	層	

第0028号 単価表
DH113040 路盤材敷均し転圧(人力)

757 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300006900) -00008 再生粒度調整碎石 RM-40	142.16	m3			[1]
(DHT21800) 振動ロー(排出ガス対策型)搭乗式 コンパインド型		日			第0026号単価表 [1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ[1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工数量	217		217 m2		
J02 路盤材の実容積	32.6		32.6 m3		
J03 路盤材の種類	6		再生粒度調整碎石		
J04 路盤材の割増率			%		
J05 路盤材の割増率	25		25 %		
J06 路盤材の割増率			%		
J07 路盤材の割増率			%		
J08 路盤材の割増率			%		
J09 作業難易度	1		標準		
I10 転圧層数	2		2層		

第0029号 単価表
DH113210 人力舗設

100 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300200300) -00009 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	12.34	t			
(Z302010010) アスファルト乳剤 PK-3		L			
(DHT21840) タンバ 60~80kg		日			第0030号単価表 [1]
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10010) 雑材料 特定項目の% Σ [1] * 0.1	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 アスファルト混合材の種類	1		粗粒度アスファルトコンクリート		
J02 舗装厚(層別)	5		5 cm		
J03 設計密度	2.35		2.35 t/m3		
J04 施工区分	1		基層施工前		
J05 仕上げ厚	1		t ≤ 5cm		

第0030号 単価表
DHT21840 タンバ 60～80kg

1 日 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010050) -00005 ガソリン レギュラー		L			
(R0101) 特殊作業員		人			
(R0102) 普通作業員		人			
(M303650000) ランマ 質量60～80kg		日	【損料】		
(M303650000) ランマ 質量60～80kg		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0031号 単価表
DH113210 人力舗設

100 m2 当り
適用年版 T0107

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300200500) -00010 再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	12.18	t			
(Z302010020) アスファルト乳剤 PK-4		L			
(DHT21840) タバ 60~80kg		日			第0030号単価表 [1]
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10010) 雑材料 特定項目の% Σ [1] * 0.06	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 アスファルト混合材の種類	2	密粒度アスファルトコンクリート			
J02 舗装厚(層別)	5	5 cm			
J03 設計密度	2.32	2.32 t/m3			
J04 施工区分	2	表層・中間層施工前			
I05 仕上げ厚	1	t ≤ 5cm			

第0032号 単価表
 SJ0020 施工実態調査

1 式 当り
 適用年版 T0107

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0030) 施工実態調査費 詳細調査 舗装工	1	件			
(TJ0040) 施工実態調査費 モニタリング調査 コンクリート構造物工、付属工等	2	工種			
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

